

## 【平成23年度 授業改善推進プラン】

### 【国語】

<p>■生徒の状況</p>	<p>国語に対する興味・関心が強く、よく発言し活発に話し合い活動等に取り組んでいる生徒が多い。</p> <p>文法等の知識や理解については得意・不得意の差が大きい。</p> <p>長文読解や文章を書くことに苦手意識を抱いている生徒が多い。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>文法等の不得意な生徒にいかに関基礎・基本の定着をさせるか。また得意な生徒にはどのように働きかけをするか。</p> <p>長文読解や文章を書くことへの苦手意識をいかに軽減させるか。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>文法等の既習事項の復習を授業の中に組み込んでいく。得意な生徒へは発展的な内容を学習させ、応用力を身に付けさせる。</p> <p>読解は短めの文章から長文へと段階的に指導する。</p> <p>生徒の身の回りのことや興味のあることなどについて文章を書かせ、書くことへの苦手意識をなくす。</p>

### 【社会】

<p>■生徒の状況</p>	<p>教科の学習内容に興味を持ち、授業に真面目に取り組もうとする生徒が多い。しかし、得意・不得意の差も大きく、集中できない生徒も一部いる。</p> <p>作業的な課題に対してはよく取り組んでいる。</p> <p>思考する力とその考えを文章などで表す力がやや不十分である。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>基礎・基本の定着をいかに図るか。</p> <p>聞く力、思考する力、表現する力をいかに付けさせるか。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>教科の内容に関心をもつことができるか、もつことができないかが得意・不得意の差に直結しやすい教科であるので、様々な資料を活用し、興味・関心を引き出す工夫をする。</p> <p>基礎的・基本的事項を徹底しなくては思考力の向上は難しいので、小テストや宿題などによりその定着を図る。</p> <p>理由等を考えさせ、そのことを文章で表す教材を作成する。</p> <p>教材に作業的な要素をできるだけ取り入れる。</p> <p>学び合い、話し合い、発表の授業を取り入れる。</p>

【数学】

<p>■生徒の状況</p>	<p>学習に対しては、授業に真面目に取り組もうとする生徒が多い。 しかし、得意・不得意の差も大きく、集中できない生徒も一部いる。 作業的な課題はよく取り組んでいる。 文章問題など思考する力とその考えを表す力がやや不十分である</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>基礎・基本の定着。 思考する力をいかに身に付けさせるか。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>小テストなどを利用し、基礎学力の定着を図る。 文章問題に数多く触れ、思考する力、文章を読み取る力を身に付けさせる。</p>

【理科】

<p>■生徒の状況</p>	<p>学習に対しては、真面目な生徒が多いが、集中に欠ける生徒が少数いる。 表現力や思考力が弱い生徒が多い。 基本的な計算力や知識が不足している生徒が少数いる。 実験・観察については、意欲的に取り組む生徒が多い。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>自然事象について、また、それを見つめるための基礎的な知識や技能(実験・観察の手法、法則、単位など)の積み上げをする。 実験・観察について、分析解釈するための方法を身に付けさせる。 分析解釈するための基本的な数字の概念を身に付けさせる。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>単位の表す意味を理解させ、分数・小数などの計算力を身に付けさせる。 習得した知識を実験・観察・レポートの作成をすることで、理論的にまとめ、科学的思考力・表現力を身に付けさせていく。 (結果・考察・まとめの仕方を身に付けさせる) 表現力を身に付けさせるために、実験では、グループごとの発表を行う。 「なぜなのか」と発問し、説明を出来るようにさせる。</p>

【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<p>声を出すことには抵抗が少ないが、響く声・伸びのある声での発声にはまだ照れが有り、地声で歌う生徒も多い。</p> <p>徐々に改善はされているが、なかなか集中力が続かない生徒もいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>曲の内容を知り、どんな声で歌うと良いか…などに着目させ、詩や言葉からアプローチするとともに、諸記号のもつ意味を考え演奏に生かしていく。</p> <p>曲の構成を考えられる力を身に付ける。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>音楽の基礎的な力(楽典や歴史の中から)を身に付けられるように指導していく。</p> <p>リズムや音程を楽譜から読みとる力を養っていく。</p>

【美術】

<p>■生徒の状況</p>	<p>事象の美しさやもの作りに興味・関心のある生徒が多く、鑑賞には特に熱心である。一方で表現の基礎・基本が十分でない者もいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>表現の基礎・基本を身に付け、高める。</p> <p>より豊かな鑑賞の力を付ける。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>表現の基礎・基本を高める制作を、継続して行う。</p> <p>より多くの作品を系統的に鑑賞し、観る力や感じる心を高める。</p>

【保健体育】

<p>■生徒の状況</p>	<p>運動を楽しむことの好きな生徒が多いが、自ら考え行動する思考・判断力に欠ける傾向がある。体力は比較的バランスは良いが、筋力が付いていない生徒が多い。集団的行動の苦手な生徒がみられる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>筋力を高める。思考・判断力を高め、自ら体力を向上しようとする意識を高める。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>筋力を高める運動を毎時間継続して取り入れる。</p> <p>自己の能力を知り、自ら課題の設定を行い、課題解決方法を考え、練習に取り組む。集団行動や集団的スポーツを通して、自らの役割を意識させ、繰り返しの指導を行う。</p>

【技術・家庭】

<p>■生徒の状況</p>	<p>製作に対する関心・意欲を強くもっている。しかし基礎的スキルはあまり身に付いていないので丁寧に学習を進めていくように努めている。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>製作目的をしっかりとせ、製作が終了し、その後も作品を大事に出来るような作品開発を行っていくことが必要である。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>授業時間が少ないため、能率的に学習できるように工夫をしていく。基礎的事項を身に付けるように指導していく。「なぜ、どうして」という疑問を解決していくように考えて学習していく姿勢をもたせていく。</p>

【外国語】

<p>■生徒の状況</p>	<p>言語活動を積極的に行う生徒が多い。一方、基本的な単語や語彙が不足している生徒もいる。 長文の読解や、英文での表現が苦手な生徒も多い。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>基本的な単語や語彙の定着を図る。 言語の運用力を高める。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>Bingoやスペリングコンテストを継続的に行い、定着を図る。 様々な英文にふれることで、自然な英語表現を習得させ、自己表現力を高め、コミュニケーション能力を高める。</p>

【総合的な学習の時間】

<p>■生徒の状況</p>	<p>国際理解、情報、環境、福祉・健康に関する課題を、学校行事と対応させながら、取り組んでいる。 行事ごとの調べ学習や課題の発表は、定着しつつある。 調べ学習では、すぐにインターネットの情報に頼ってしまう傾向がある。 課題が決まれば、しっかり取り組む生徒が多いが、課題設定までに時間がかかる生徒も見られる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>自らテーマを決めるにあたっては、課題設定になかなか向かえない生徒もいるので、自分自身で決められるような方策を考える必要がある。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>課題については、できるだけ選択肢を示しながら、自分に合ったテーマを探そう指導している。また、調べ学習については安易にインターネットに頼らず、できるだけ書物等による資料や自身の体験内容を用いるように指導する。 調べ学習→体験→まとめ→発表を定着させるよう今後も継続的に取り組んでいく。</p>